

病害虫発生予察情報
6 月月報

令和8年7月13日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2026 年6月	気 温							降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均						
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	24.6	-1.0	17.3	0.8	20.5	-0.2		203.0	453.1	24.4	46.6
中旬	27.2	1.0	18.0	-0.2	22.1	0.4		110.0	161.1	51.5	130.7
下旬	25.7	-1.4	19.9	0.3	22.4	-0.5		120.5	225.2	9.8	31.8
平均	25.8	-0.5	18.4	0.3	21.7	-0.1					
合計								433.5	260.2	85.7	69.3

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に3日は台風第6号が東日本の南岸を通して関東甲信地方に接近し大雨となった。
3日に日降水量 182.0mm、日最大1時間降水量 43.5mm を観測し、ともに統計開始以降6月として3位となった。
なお、関東甲信地方では、6月7日ごろ梅雨入りしたとみられる（速報値）。
旬平均気温は平年並、旬間日照時間はかなり少なく、旬降水量はかなり多くなった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨となり、雷を伴った日もあった。
旬平均気温は平年並、旬間日照時間は多く、旬降水量は平年並となった。

下旬：前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に26日～27日にかけては、前線や台風第7号、8号の影響で大雨となった。
旬平均気温は低く、旬間日照時間はかなり少なく、旬降水量はかなり多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

田植えは順調に終了したが、日照不足の影響で分かつが少ない傾向であった。

(2) 野菜

果 菜 類:概ね順調に生育したが、日照不足の影響でキュウリ、ナスでやや低収量の傾向であった。
葉根菜類:コマツナ、キャベツ等の生育は概ね平年並みであった。
イ モ 類 :ジャガイモの収量は平年並み、サツマイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土・露地）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下の通り。

すべての品種で開花始・盛期は平年より早かった。

巨峰 : 開花始 5 月 25 日（－2 日）、開花盛 5 月 27 日（－3 日）

安芸クイーン : 開花始 5 月 25 日（－1 日）、開花盛 5 月 27 日（－2 日）

高尾 : 開花始 5 月 16 日（－8 日）、開花盛 5 月 27 日（－9 日）

(4) 茶樹

今年は気候も落ち着いて降雨もあったため、生育はおおむね順調だった。目立った病害虫被害もなかった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや少 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 並 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は平年並みであった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は平年並みであった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯への誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

トマト

モザイク病

< 少 >

発生は少なかった。

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

葉かび病

< 少 >

発生は少なかった。

疫病

< やや少 >

発生はやや少なかった。

白ぶくれ症

< やや少 >

発生はやや少なかった。

コナジラミ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

オオタバコガ

< 少 >

発生は少なかった。

キュウリ

うどんこ病

< 並 >

発生は平年並みであった。

べと病

< 並 >

発生は平年並みであった。

アザミウマ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ナス

アザミウマ類

< やや少 >

発生はやや少なかった。

ハダニ類

< 少 >

発生は少なかった。

コマツナ

白さび病

< 少 >

発生は少なかった。

炭疽病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< やや少 >

巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。

カブラハバチ

< 少 >

発生は少なかった。

アザミウマ類

< やや多 >

発生はやや多かった。

スイートコーン

アワノメイガ

< やや少 >

巡回調査での発生及びフェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。

ネギ

べと病

< 並 >

発生は平年並みであった。

さび病

< 少 >

発生は少なかった。

ネギアザミウマ

< 並 >

発生は平年並みであった。

ネギハモグリバエ

< 少 >

発生は少なかった。

キャベツ

菌核病

< 並 >

発生は平年並みであった。

黒腐病

< 少 >

発生は少なかった。

コナガ

< やや少 >

巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。

ヨトウガ

< 少 >

発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< 少 > 発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

父島のパッションフルーツにおいて、カイガラムシ類の被害がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ

< 誘殺なし >

ウリミバエ

< 誘殺なし >

クインズランドミバエ

< 誘殺なし >

ミカンコミバエ種群

< 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp
/nourin/shoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。